

## 総務政策委員会記録

開会年月日	令和2年7月1日
開会時刻	午前11時40分
閉会時刻	午前11時56分
出席委員名	◎鈴木豊司    ○楠木宏彦    久保 真    井村貴志
	岡田善行    品川幸久    藤原清史    西山則夫
	世古 明 議長
欠席委員名	
署名者	久保 真    井村貴志
担当書記	中野 諭
審査案件	議案第77号    令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第5号） （総務政策委員会関係分）
説明者	総務部長、総務部参事、危機管理部長、危機管理部次長
	消防長、消防本部次長、消防本部参事、消防総務課長、消防課長
	その他関係参与

## **審査経過**

鈴木委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に久保委員、井村委員を指名した。その後、直ちに議事に入り、7月1日の本会議において審査付託を受けた「議案第77号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第5号）中、総務政策委員会関係分」を審査し、全会一致で原案どおり可決と決定した。委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前11時40分

### ◎鈴木豊司委員長

ただいまから総務政策委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名を委員長において、久保委員、井村委員の御兩名を指名いたします。

本日御審査いただきます案件は、本日の本会議におきまして総務政策委員会に審査付託を受けました「議案第77号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第5号）中、総務政策委員会関係分」であります。

お諮りいたします。審査の方法につきましては委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎鈴木豊司委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

また、委員間の自由討議につきましては、申し出がありましたら随時行いたいと思えます。よろしく願いいたします。

## **【議案第77号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第5号）中（総務政策委員会関係分）】**

### ◎鈴木豊司委員長

それでは、「議案第77号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第5号）中、総務政策委員会関係分」を御審査願います。

審査の便宜上歳出から審査に入ります。補正予算書の18ページをお開きください。款10消防費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

西山委員。

### ○西山則夫委員

消防費の関係の中でですね、本会議で提案説明のときに少しお聞きしたんですが、新型コロナウイルス感染症防止対策事業の消防施設感染防止対策事業でございますけども、消

防職員の感染リスクの軽減を図るため、仮眠ベッドを2段ベッドに変更することということで御提案がございました。

これは多分本庁だけの施策ではないかと思うんですか、他に二見以下、御菌西、小俣、玉城、度会ですか、そういったところにも施設があるんですが、そういったところの関係についてはどのような手はずを考えているのか、少しお聞かせをいただきたいと思います。

◎鈴木豊司委員長  
消防総務課長。

●堀江消防総務課長

現状につきましてはですね、消防署の本署、各分署、各出張所は和室の部屋もございません。それ以外での仮眠室については仮眠用のベッドを設置しております。

現在、ベッドについてはシングルベッドで一つの布団を数人で共用しております、このため職員間であらゆる感染症のリスク低減に努めるため、今回ベッドを2段化するものでございます。

◎鈴木豊司委員長  
西山委員。

○西山則夫委員

それぞれ対策を練っていただくのは分かるのですが、ちょっとあの私申し上げましたように、分署のほうの関係がこれからどうしていくのかというのは、今お話がありましたように和室もあるということも含めてですね、これからそのコロナだけではなく、例えばインフルエンザが流行ってくるというような時期になったらどうしていくのかという、いろんな対策が衛生上も必要だというふうに思いますので、やはり共用しているということの危険性というのですか、危機管理というのか、そういったものがやっぱり生まれてくると思うんですよ。一人1台のベッドを全部に与えるというわけにはいかないので、それはいいのですけれども、寝具とかそんながね、みんな共用になっているということの危険性が少しあるのかなということ考えます。

私も実は現役で仕事したときに、当直をやって同じようなベッドで交代で寝ておったんですが、それはいろいろ対策をしてきたんですけども、やはり一番危機の最前線に立っていただく職員の皆さんがそういったことに安心して勤務ができる体制をですね、今回、ベッドだけになりましたけども、ぜひ今後ね、こういった対策について消防署内で検討していただいて、どのような方向性に持っていくか、分署も含めてちょっと御見解を聞かせていただきたいと思います。

◎鈴木豊司委員長  
消防総務課長。

●堀江消防総務課長

消防署本署におきましては、各日勤務者2名による完全個室化となっておりますが、その他の所属は数人での使用のため、完全個室化にはなっておりません。

健康管理も踏まえ、今後創意工夫しながら、それぞれの所属に合った対応を研究しまして、職員間の感染防止に努めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎鈴木豊司委員長  
西山委員。

○西山則夫委員

ありがとうございました。ぜひですね、そういった先駆けて取り組んでいただくことを期待したいというふうに思っております。

コロナ対策でちょっとこの予算には関連してないんですが、ちょっとだけこの際お聞かせ願いたいのは、救急車で出動する際にですね、いわゆる防護服ですね、どのような方が救急車を要請して、どのような症状なのかというのが、伊勢は幸いそういうことがなかったので、そういうケースがなかったと思うんですけども、やはりこれがこのまあいってまだ分かりませんから、やはり出動する際にはみんな防護服を持って、もし何もないやいんですけど、感染者が増えてきたとかいう事態になってくると、それこそ防護服が足らなくなるとか、やはりそういった事態になるのかなというふうにちょっと想像するんですが、今現状ですね、やはり消防署で持っている防護服の準備、備蓄そういった態勢はどのようなものなのか、少しお聞かせをいただきたいと思います。

◎鈴木豊司委員長  
消防課長。

●山下消防課長

当本部における感染防着等の個人装備品は、感染症対策の備蓄資機材として管理をしており、資機材により差異はありますが、3か月から半年間の対応ができるだけの備蓄がございます。

今後も、2波以降に備えて適切な感染防止用の資機材の充実に進めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

◎鈴木豊司委員長  
西山委員。

○西山則夫委員

今のところ、最大半年間までは大丈夫だということについて安心をさせていただきました。

ぜひですね、これは使い捨てというのですかね、1回使ったら廃棄処分しなければならんというような防護服らしいので、かなりこれはやはり絶えず備蓄を確保しながら、態勢を組んでいただくようお願いをしておきたいと思います。

◎鈴木豊司委員長  
他に、品川委員。

○品川幸久委員

災害対策費のところでは少しお聞きしたいんですけど、予算のほうでは557万5,000円という数字が出ておるわけなんですけど、各避難所にですね、パーテーションと段ボールベッドを備蓄するというふうになっておるんですけど、今災害時の避難所は何か所ありますか。

◎鈴木豊司委員長  
危機管理部次長。

●宮本危機管理部次長

お答えさせていただきます。伊勢市の指定避難所としましては、現在54か所ございます。

◎鈴木豊司委員長  
品川委員。

○品川幸久委員

54か所にパーテーションと段ボールベッドを1か所大体どれぐらい用意されるんでしょうか。

◎鈴木豊司委員長  
危機管理部次長。

●宮本危機管理部次長

今54か所ということをお申し上げましたんですが、例えば去年、2年前、3年前の状況で避難所の開設状況をまず説明させていただきます。

54か所のうちですね、例えば去年、台風19号で最大1,100名の避難者があったときにはですね、34か所の避難所の開設でございました。残りの3回、計4回だったんですけど、残りの3回の避難所の開設状況としますと、54か所のうち8か所、8か所、8か所、避難者も50名、70名、20名程度でした。

2年前につきましても、台風24号のときだったんですけど、最大1,100名でその時が避難所の開設、避難者が入られた開設しとる避難所としては28か所、それ以外は300、200、700程度で、ここ最近で台風21号、一番浸水被害のあった平成29年度ですが、このときは1,200名程度の避難者がございまして、そのときに54か所のうち42か所の開設でして、残りの避難所を開設したときの避難者というのは50名や30名や20名といった形でですね、ここ3年間で最大でも1,100名ほどの避難者の状況です。

今回、このパーテーションと段ボールの使い方なんですけど、本会議でもちょっとお話をさせていただいたのですが、集中する避難所というのがやっぱりありまして、そういった

ところにまずは重点を考えております。

それで、今回パーテーションと段ボールの使い方なんですが、まずは離隔をとった、内閣府の方針であるんですけど、テープで区画をとって避難していただく。その中で調子の悪くなった、体調が悪くなった方が、今回別室を設けていますので、別室に設けたところでパーテーションを利用するか段ボールを利用するかっていうところでして、それぞれに平均的に置くのではなくて、集中しておるところに集中して置かせていただきます。

今回の避難者のここ最近の1,200名が最大でしたが、1,200名から1,500名の避難者があった場合に、体調が悪くなった方を想定してのパーテーションと段ボールを用意させていただいておるところでございます。

◎鈴木豊司委員長

品川委員。

○品川幸久委員

説明が詳しい分だけ逆に分かりにくくなってきたんですが、昨日でも愛知県で台風19号程度の雨が降ってという話があって、この間のときは34か所、多いときは40何か所となったわけなんですけど、おたくらの言われる集中するというのはどういう意味で言われとらんかよく分からないんですけど。

実際何か所で、そこのところにパーテーションは幾つ用意して、その施設にね、それがあなたの言われた国のほうで離隔されてどうのこうのというのは、それは分かるんですけど、例えば一つの避難所で体育館があって、そこんところにパーテーションを幾つぐらい置いて、段ボールベッドは幾つ置くかということが聞きたいわけで、その説明でね、集中するところ、集中せんところと結局数字を言うたけれども、一体どこなのかさっぱり分からないので、これだけ予算を盛られて、これで逆に大丈夫なんかなと思うか、これで十分余るのかなというところを今審査しとるんで、そこら辺を明確にちょっと説明していただけますか。

◎鈴木豊司委員長

危機管理部次長。

●宮本危機管理部次長

申し訳ございません。今回ですね、特別集中するというのはいせトピアの避難所でございます。昨年は1,100名ほどの避難者、全体避難者のうち400名の方がいせトピアに避難されたというところでして、今回コロナウイルスの対策をもって人数の制限をいたすんですが、いせトピアの一例でいきますと、先ほど申しましたように避難者全員をパーテーションと段ボールベッドで対応していただくんじゃなくて、避難してもらったところから、体調が悪くなった方を別室に設けますので、そちらで用意をしています。

いせトピアに関しましては、パーテーションは45程度…、「委員長いいですか」と呼ぶ者あり)

◎鈴木豊司委員長  
品川委員。

○品川幸久委員

端的に段ボールベッドは幾らで何個用意して、それでパーテーションを幾らで幾つ用意して、それが全部いせトピアへ行くならいせトピアへ行くというふうに、もっと分かりやすく端的にちょっと説明してもらえるとありがたいですけど。

◎鈴木豊司委員長  
危機管理部次長。

●宮本危機管理部次長

今回のこの557万5,000円の内訳ですが、ビニール製のパーテーション、間仕切りですが、これを140個、1個当たり約3万円弱、2万9,000円ですね。段ボールベッドにつきましては約9,000円、個数的には約100個用意しています。

そのうち、集中するいせトピアのほうに全部じゃないですが、幾つか配置を考えております。

◎鈴木豊司委員長  
品川委員。

○品川幸久委員

後のところにはある程度の数を入れるということで理解してよろしいでしょうか。

◎鈴木豊司委員長  
危機管理部次長。

●宮本危機管理部次長

いせトピア以外に集中するところが七つほどありますので、そこら辺を中心的に配置するのと、それ以外のほうにも考えたいと思います。

◎鈴木豊司委員長  
他にございませんか、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

他に発言もないようでございますので、款10消防費の審査を終わります。

以上で歳出の審査を終わります。

次に、8ページにお戻りください。歳入の審査を一括でお願いいたします。

発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

よろしいですか。発言もないようでございますので、以上で歳入の審査を終わります。  
次に1ページにお戻りをください。条文の審査に入ります。条文の審査は条文一括でお願いいたします。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

発言もないようでございますので、条文の審査を終わります。  
以上で議案第77号中、総務政策委員会関係分の審査を終わります。  
続いて討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

ないようでございますので、以上で討論を終わります。  
お諮りいたします。「議案第77号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算第5号中、総務政策委員会関係分」について、原案どおり可決すべしと決定いたしまして、御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。  
以上で付託案件の審査はすべて終了いたしました。  
お諮りいたします。委員長報告文の作成につきましては正副委員長に御一任願いたいと思いますが御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。  
以上で御審査願います案件はすべて終わりましたので、これをもちまして総務政策委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時56分

上記署名する。

令和2年7月1日

委員長

委員

委員